

## 高陽東高等学校の特色ある授業の紹介（1学期・5月分）

### 「郷土の風土と文化」（地歴・公民科）

3回：令和元年5月7日（火）3～4限

「日本の伝承あそび ～お手玉～」

講師：ひろしまお手玉の会のみなさん

「お手玉」は小さい頃にやったことはあり、いくらかはできると思っていたのですが、今日は本格的な技を教えて頂きました。とても難しく、なかなか先生のようにお手玉を繰ることはできませんでした。とても奥深く、技のバリエーションも無限に広がっていく遊びだと感じました。手足だけでなく、全身を使ういわば「運動」だと思いました。そして、頭の体操にもなると感じました。老若男女それぞれができる遊びで、もっと普及する可能性を感じました。



4回：令和元年5月14日（火）3～4限

「浴衣祭り とうかさん」

講師：ぼたんグループ（亀崎公民館） 岩谷恵子先生

「とうかさん」の名前は知っていましたが、「浴衣祭り」という別称があること、この祭りから広島では浴衣を着始めるならわしがあることを初めて知りました。浴衣の着付けは難しかったですが、何とか一人で着れるようになりました。6月のとうかさんには、自分で着た浴衣で参加したいと思いました。広島に長く住んでいるつもりでしたが、知らないことが多く、驚いています。もっと地元のことに関心していきたいと思いました。



5回：令和元年5月28日（火）3～4限

「古代の生活① ～火おこし～」

講師：広島県立歴史民俗資料館

学芸員 岸本 晴菜 先生

〃 川邊 あさひ先生

現在はコンロ，ライターやマッチの普及で，調理などの際の「火」の利用はとても簡便になっています。しかし，古代においては，その利活用がいかに大変であったかが「火おこし」体験でわかりました。「火おこし」にもユミキリ法やマイキリ法などがあり，少しでも簡単に火が熾せる工夫を人間はしてきたんだと実感しました。私たちも，当たり前のように，何も考えず生活するのではなく，様々なことに注意を払って生活していきたいと感じました。

